

重力場のエネルギー擬テンソル

中嶋 慧

2019年12月3日(2023年10月23日修正・追加)

Abstract

本記事は数理物理 Advent Calendar 2019 の4日目の記事である。この記事では重力場のエネルギー擬テンソルとスーパー・ポテンシャルを解説する。主に内山龍雄の [1, 2, 3] を参考にした。

Contents

1	一般論	2
1.1	記号の導入とアインシュタイン方程式	2
1.2	重力場のエネルギー擬テンソル	3
1.3	不変変分論：スーパー・ポテンシャルの導出	5
1.4	補足	10
2	具体的な計算	11
2.1	前章に現れた量の計算	11
2.2	名前の付いたスーパー・ポテンシャル	15
2.3	内山のスーパーポテンシャル $U^{\lambda\mu}{}_{\nu}$ の表式	17
2.4	アインシュタインのエネルギー擬テンソル $t^{\mu}{}_{\nu}$ の表式	18
A	アインシュタイン・ヒルベルト作用の変形	20
B	G から得られる量	22
B.1	G の微分	22
B.2	アインシュタイン・テンソル	23
B.3	擬スーパー・ポテンシャル ${}^{(0)}C^{\sigma\delta}{}_{\rho}$	23

1 一般論

1.1 記号の導入とアインシュタイン方程式

この記事では D 次元時空を考え、計量 $g_{\mu\nu}$ の符号は $(-+++ \dots +)$ とする。また、

$$\Gamma^\sigma{}_{\mu\nu} := \frac{1}{2}g^{\sigma\lambda}(\partial_\mu g_{\lambda\nu} + \partial_\nu g_{\lambda\mu} - \partial_\lambda g_{\mu\nu}), \quad (1.1)$$

$$R^\mu{}_{\lambda\alpha\beta} := \partial_\alpha \Gamma^\mu{}_{\lambda\beta} - \partial_\beta \Gamma^\mu{}_{\lambda\alpha} + \Gamma^\mu{}_{\rho\alpha} \Gamma^\rho{}_{\lambda\beta} - \Gamma^\mu{}_{\rho\beta} \Gamma^\rho{}_{\lambda\alpha}, \quad (1.2)$$

$$R_{\mu\nu} := R^\lambda{}_{\mu\lambda\nu}, \quad (1.3)$$

$$R := g^{\mu\nu} R_{\mu\nu} \quad (1.4)$$

とする。付録 A で示すように、

$$\sqrt{-g}R = \sqrt{-g}G + \partial_\mu \mathbf{D}^\mu, \quad (1.5)$$

$$G := g^{\mu\nu} \left[\Gamma^\rho{}_{\gamma\nu} \Gamma^\gamma{}_{\mu\rho} - \Gamma^\rho{}_{\gamma\rho} \Gamma^\gamma{}_{\mu\nu} \right], \quad (1.6)$$

$$\mathbf{D}^\rho := \sqrt{-g} \left[g^{\mu\nu} \Gamma^\rho{}_{\mu\nu} - g^{\mu\rho} \Gamma^\nu{}_{\mu\nu} \right] \quad (1.7)$$

となる。ここで $g := \det(g_{\mu\nu})$ である。以下、

$$\mathcal{L}_G := \frac{1}{2\kappa} \sqrt{-g}R, \quad (1.8)$$

$$\tilde{\mathcal{L}}_G := \frac{1}{2\kappa} \mathbf{G}, \quad \mathbf{G} := \sqrt{-g}G \quad (1.9)$$

とする。 κ はアインシュタイン定数である。今、

$$G_{\mu\nu} := \frac{1}{\sqrt{-g}} \left[\frac{\partial \mathbf{G}}{\partial g^{\mu\nu}} - \partial_\lambda \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_\lambda g^{\mu\nu})} \right] \quad (1.10)$$

とすると、

$$G_{\mu\nu} = R_{\mu\nu} - \frac{1}{2}g_{\mu\nu}R \quad (1.11)$$

となる。これは §B.2 で示す。また、

$$\mathbf{G}^{\mu\nu} := \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial g_{\mu\nu}} - \partial_\lambda \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_\lambda g_{\mu\nu})} \quad (1.12)$$

とすると、

$$\mathbf{G}^{\mu\nu} = -\sqrt{-g}G^{\mu\nu} \quad (1.13)$$

となる¹⁾。

¹⁾ §B.2 ではこの式を示す。この式から (1.11) が従う。それは、

$$\delta g^{\mu\nu} = -g^{\mu\alpha} g^{\nu\beta} \delta g_{\alpha\beta}$$

から明かである。

重力場と物質場 (ゲージ場を含む) の合成系の作用は、

$$S = \int d^D x (\mathcal{L}_G + \sqrt{-g}\mathcal{L}_{\text{mat}}) \quad (1.14)$$

である。 \mathcal{L}_{mat} は物質場のラグランジアン密度である。アインシュタイン方程式は、

$$\mathbf{G}^{\mu\nu} = \kappa \mathbf{T}^{\mu\nu}, \quad (1.15)$$

$$\mathbf{T}^{\mu\nu} := -2 \left[\frac{\partial(\sqrt{-g}\mathcal{L}_{\text{mat}})}{\partial g_{\mu\nu}} - \partial_\lambda \frac{\partial(\sqrt{-g}\mathcal{L}_{\text{mat}})}{\partial(\partial_\lambda g_{\mu\nu})} \right] \quad (1.16)$$

となる。ここで、 $T^{\mu\nu} := \mathbf{T}^{\mu\nu}/\sqrt{-g}$ はエネルギー・運動量テンソルである²⁾。

1.2 重力場のエネルギー擬テンソル

§1.3で示すように、

$$\partial_\mu \mathbf{G}^\mu{}_\nu - \frac{1}{2} \partial_\nu g_{\alpha\beta} \mathbf{G}^{\alpha\beta} \equiv 0 \quad (1.17)$$

が示される。ここで、 \equiv は運動方程式の助けなしに成り立つ式を表す。同様に、

$$\partial_\mu \mathbf{T}^\mu{}_\nu - \frac{1}{2} \partial_\nu g_{\alpha\beta} \mathbf{T}^{\alpha\beta} = 0 \quad (1.18)$$

となる。これはエネルギー・運動量保存則を表す。

さて、明らかに、

$$\partial_\mu \mathbf{T}^\mu{}_\nu \neq 0 \quad (1.19)$$

である。もし、

$$\partial_\mu [(\sqrt{-g})^\alpha (\mathbf{T}^\mu{}_\nu + \mathbf{t}^\mu{}_\nu)] = 0 \quad (\alpha = -1, 0, 1) \quad (1.20)$$

または

$$\partial_\mu [(\sqrt{-g})^\alpha (\mathbf{T}^{\mu\nu} + \mathbf{t}^{\mu\nu})] = 0 \quad (\alpha = -1, 0, 1) \quad (1.21)$$

となる量 $\mathbf{t}^\mu{}_\nu$ または $\mathbf{t}^{\mu\nu}$ が存在すれば、

$$P_\nu := \int_{V_t} d^{D-1}x (\sqrt{-g})^\alpha (\mathbf{T}^0{}_\nu + \mathbf{t}^0{}_\nu) \quad (1.22)$$

または

$$P^\nu := \int_{V_t} d^{D-1}x (\sqrt{-g})^\alpha (\mathbf{T}^{0\nu} + \mathbf{t}^{0\nu}) \quad (1.23)$$

は保存量となる (ことを以下で示す)。ここで、 $t = x^0$ が時間と解釈できる座標系を選んだ。 V_t は時刻が t となる超平面である。 $d^{D-1}x = dx^1 dx^2 \cdots dx^{D-1}$ である。 $\mathbf{t}^\mu{}_\nu$, $\mathbf{t}^{\mu\nu}$ を重力場のエネルギー

²⁾多くの文献と符号が逆である。

ギー擬テンソルと呼ぶ³⁾。電話帳 (Wheeler, Misner, Thorne) では、 $\alpha = -1$ に対して (1.21) が成立するエネルギー擬テンソルが解説されている。ランダウ・リフシッツ (『場の古典論』) のエネルギー擬テンソルは $\alpha = 1$ に対して (1.21) が成立する。本記事では、 $\alpha = 0$ に対して (1.20) が成立する場合を扱う。

量 \mathbf{J}_r^μ (r はラベルで、テンソルの添え字でも良いし、そうでなくても良い) が

$$\partial_\mu \mathbf{J}_r^\mu = 0 \quad (1.24)$$

を満たすとし、以下を仮定する：

- 時空は無限遠において漸近的にミンコフスキー時空に近づく。
- \mathbf{J}_r^μ は無限遠で十分早く 0 に収束する。

このとき、

$$Q_r := \int d^{D-1}x \mathbf{J}_r^0 \quad (1.25)$$

の左辺は、積分

$$Q_r(\sigma) := \int_\sigma d\sigma_\mu \mathbf{J}_r^\mu \quad (1.26)$$

で曲面 σ を時刻 $t (= x^0)$ が一定の面 V_t と選んだものである。ただし、 $d\sigma_\mu$ は面積素で、 $d\sigma_0 = d^{D-1}x = dx^1 dx^2 \cdots dx^{D-1}$ である。時刻 t_1, t_2 が一定の面 V_{t_1}, V_{t_2} をつなぐ面 (無限遠にある側面) を σ_{12} とする。 $V_{t_1}, V_{t_2}, \sigma_{12}$ に囲まれる領域を Ω とし、 $\partial\Omega = V_{t_1} + \sigma_{12} - V_{t_2}$ とする。このとき、

$$Q_r(\partial\Omega) = Q_r(V_{t_1}) - Q_r(V_{t_2}) + Q_r(\sigma_{12}) \quad (1.27)$$

である。一方、ストークスの定理 (ガウスの定理) より、

$$Q_r(\partial\Omega) = \int_\Omega d^Dx \partial_\mu \mathbf{J}_r^\mu = 0 \quad (1.28)$$

である。よって、 $Q_r(\sigma_{12}) = 0$ を仮定すれば、

$$Q_r(V_t) = \int_{V_t} d\sigma_\mu \mathbf{J}_r^\mu = \int_{V_t} d^{D-1}x \mathbf{J}_r^0 \quad (1.29)$$

が時間によらない、つまり (1.25) が時間によらないことが分かる。

今、

$$(\sqrt{-g})^\alpha \left(\frac{1}{\kappa} \mathbf{G}^\mu{}_\nu + \mathbf{t}^\mu{}_\nu \right) \equiv \partial_\lambda \mathbf{U}^{\lambda\mu}{}_\nu \quad (1.30)$$

を満たす量が存在し、

$$\partial_\mu \partial_\lambda \mathbf{U}^{\lambda\mu}{}_\nu = 0 \quad (1.31)$$

³⁾ エネルギー擬テンソルは一般座標変換に対してテンソルのように変換されないが、アフィン変換 (1.43) に対してはテンソルとして変換される。

であるとする。このとき、アインシュタイン方程式より、

$$(\sqrt{-g})^\alpha (\mathbf{T}_\nu^\mu + \mathbf{t}_\nu^\mu) = \partial_\lambda \mathbf{U}^{\lambda\mu}_\nu \quad (1.32)$$

となり、

$$\partial_\mu [(\sqrt{-g})^\alpha (\mathbf{T}_\nu^\mu + \mathbf{t}_\nu^\mu)] = 0 \quad (1.33)$$

となる。もしも、

$$\mathbf{U}^{\lambda\mu}_\nu \equiv -\mathbf{U}^{\mu\lambda}_\nu \quad (1.34)$$

であれば、(1.31) も成立する。(1.30), (1.34) を満たす量をスーパー・ポテンシャルという。(1.30), (1.31) を満たす量を、ここでは仮に擬スーパー・ポテンシャルと呼ぶ。 $\mathbf{t}^{\mu\nu}$ についても同様である(その場合、 \mathbf{U} の添え字は $\mathbf{U}^{\lambda\mu\nu}$ となる)。

スーパー・ポテンシャルが存在するとき、 P_ν は、

$$\begin{aligned} P_\nu &= \int_{V_t} d^{D-1}x \partial_\lambda \mathbf{U}^{\lambda 0}_\nu \\ &= \int_{V_t} d^{D-1}x \partial_k \mathbf{U}^{k 0}_\nu \\ &= \int_{S_t} dS_k \mathbf{U}^{k 0}_\nu \end{aligned} \quad (1.35)$$

となり、表面積分で書ける。

§1.3 では、アインシュタインのエネルギー擬テンソル

$$\mathbf{t}_\nu^\mu := \frac{1}{2\kappa} \left(\frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_\mu g_{\alpha\beta})} \partial_\nu g_{\alpha\beta} - \delta_\nu^\mu \mathbf{G} \right) \quad (1.36)$$

に対して、

$$\frac{1}{\kappa} \mathbf{G}^\mu_\nu + \mathbf{t}_\nu^\mu \equiv \partial_\lambda \mathbf{U}^{\lambda\mu}_\nu \equiv \partial_\lambda {}^{(0)}\mathbf{C}^{\lambda\mu}_\nu, \quad (1.37)$$

$$\mathbf{U}^{\lambda\mu}_\nu \equiv -\mathbf{U}^{\mu\lambda}_\nu, \quad (1.38)$$

$$\partial_\mu \partial_\lambda {}^{(0)}\mathbf{C}^{\lambda\mu}_\nu \equiv 0, \quad (1.39)$$

$${}^{(0)}\mathbf{C}^{\lambda\mu}_\nu \neq -{}^{(0)}\mathbf{C}^{\mu\lambda}_\nu \quad (1.40)$$

を満たすスーパー・ポテンシャル $\mathbf{U}^{\lambda\mu}_\nu$ と、擬スーパー・ポテンシャル ${}^{(0)}\mathbf{C}^{\mu\lambda}_\nu$ を与える。

1.3 不変変分論：スーパー・ポテンシャルの導出

この節では、Noether の第2定理を応用して、スーパー・ポテンシャルを導入する。

Noether の定理には、大域的変換に対する第1定理と、局所的変換に対する第2定理がある。第1定理は場の理論の教科書で頻繁に使われる。第2定理の大きな応用例は、ゲージ理論と、ここで解説する重力場のエネルギーだと思ふ。ゲージ理論への応用は、[1] や私のノート「一般ゲー

「ゲージ場論」 <http://physnakajima.html.xdomain.jp/gauge.pdf> が詳しい。なお、論文 [4] はこの2つの応用について詳しい。

重力場のエネルギー擬テンソルの研究は、膨大な計算か、天才的なひらめきに関係するものが多いように思える。本記事では、そのどちらも(あまり)必要ない部分を選んで解説する。Noether の第2定理の方法は、そのような方法だと思う。

さて、

$$S_G := \int d^D x \mathcal{L}_G, \quad (1.41)$$

$$\tilde{S}_G := \int d^D x \tilde{\mathcal{L}}_G \quad (1.42)$$

とする。 S_G は一般座標変換で不変であり、 \tilde{S}_G はアフィン変換

$$x^\mu \rightarrow x'^\mu = a^\mu_\nu x^\nu + b^\mu \quad (1.43)$$

で不変である。ここで、 a^μ_ν , b^μ は定数で、行列 a^μ_ν は逆を持つとする。さて、微小の一般座標変換

$$x'^\mu = x^\mu + \xi^\mu(x) \quad (1.44)$$

を考える。この時、 S_G の変化は、

$$\begin{aligned} \delta S_G &= \int d^D x \left[\frac{\partial(x')}{\partial(x)} \mathcal{L}'_G(x') - \mathcal{L}_G(x) \right] \\ &= \int d^D x (\delta \mathcal{L}_G + \mathcal{L}_G \partial_\mu \xi^\mu) \end{aligned} \quad (1.45)$$

である。ここで、

$$\delta F(x) := F'(x') - F(x) \quad (1.46)$$

である。今、

$$\bar{\delta} F(x) := F'(x') \Big|_{x'=x} - F(x) \quad (1.47)$$

と置くと、

$$\begin{aligned} \delta F(x) &= F'(x') - F'(x') \Big|_{x'=x} + F'(x') \Big|_{x'=x} - F(x) \\ &= \partial_\mu F \delta x^\mu + \bar{\delta} F(x) \end{aligned} \quad (1.48)$$

であり、

$$\bar{\delta}(\partial_\mu F) = \partial_\mu(\bar{\delta} F), \quad (1.49)$$

$$\begin{aligned} \delta(\partial_\mu F) &= \bar{\delta}(\partial_\mu F) + \partial_\nu \partial_\mu F \delta x^\nu \\ &= \partial_\mu(\bar{\delta} F) + \partial_\nu \partial_\mu F \delta x^\nu \\ &= \partial_\mu(\delta F) - \partial_\nu F \partial_\mu(\delta x^\nu) \end{aligned} \quad (1.50)$$

が従う。第3等号で(1.48)を用いた。よって、

$$\delta\mathcal{L}_G + \mathcal{L}_G\partial_\mu\xi^\mu = \bar{\delta}\mathcal{L}_G + \partial_\mu(\mathcal{L}_G\xi^\mu) \quad (1.51)$$

である：

$$\delta S_G = \int d^D x \left[\bar{\delta}\mathcal{L}_G + \partial_\mu(\mathcal{L}_G\xi^\mu) \right]. \quad (1.52)$$

ここで、

$$\begin{aligned} 2\kappa\bar{\delta}\mathcal{L}_G &= \bar{\delta}\mathbf{G} + \partial_\mu\bar{\delta}\mathbf{D}^\mu \\ &= \frac{\partial\mathbf{G}}{\partial g_{\alpha\beta}}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} + \frac{\partial\mathbf{G}}{\partial(\partial_\gamma g_{\alpha\beta})}\partial_\gamma\bar{\delta}g_{\alpha\beta} \\ &\quad + \partial_\mu\left[\frac{\partial\mathbf{D}^\mu}{\partial g_{\alpha\beta}}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} + \frac{\partial\mathbf{D}^\mu}{\partial(\partial_\gamma g_{\alpha\beta})}\partial_\gamma\bar{\delta}g_{\alpha\beta}\right] \\ &= \mathbf{G}^{\alpha\beta}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} + \partial_\mu\left[\frac{\partial\mathbf{G}}{\partial(\partial_\mu g_{\alpha\beta})}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} + \frac{\partial\mathbf{D}^\mu}{\partial g_{\alpha\beta}}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} + \frac{\partial\mathbf{D}^\mu}{\partial(\partial_\gamma g_{\alpha\beta})}\partial_\gamma\bar{\delta}g_{\alpha\beta}\right] \end{aligned} \quad (1.53)$$

である。また、

$$\bar{\delta}g_{\alpha\beta} = -\partial_\alpha\xi^\lambda g_{\lambda\beta} - \partial_\beta\xi^\lambda g_{\lambda\alpha} - \xi^\mu\partial_\mu g_{\alpha\beta} \quad (1.54)$$

なので、

$$\begin{aligned} \mathbf{G}^{\alpha\beta}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} &= -2\partial_\alpha\xi^\lambda\mathbf{G}^\alpha_\lambda - \xi^\mu\partial_\mu g_{\alpha\beta}\mathbf{G}^{\alpha\beta} \\ &= \partial_\mu[-2\xi^\lambda\mathbf{G}^\mu_\lambda] + 2\xi^\mu\partial_\alpha\mathbf{G}^\alpha_\mu - \xi^\mu\mathbf{G}^\alpha_\mu\partial_\mu g_{\alpha\beta}\mathbf{G}^{\alpha\beta} \end{aligned} \quad (1.55)$$

となる。以上より、

$$2\kappa\left[\bar{\delta}\mathcal{L}_G + \partial_\mu(\mathcal{L}_G\xi^\mu)\right] = \xi^\mu(2\partial_\alpha\mathbf{G}^\alpha_\mu - \partial_\mu g_{\alpha\beta}\mathbf{G}^{\alpha\beta}) + \partial_\mu\mathbf{S}^\mu, \quad (1.56)$$

$$\begin{aligned} \mathbf{S}^\mu &:= -2\xi^\lambda\mathbf{G}^\mu_\lambda + \frac{\partial\mathbf{G}}{\partial(\partial_\mu g_{\alpha\beta})}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} + \frac{\partial\mathbf{D}^\mu}{\partial g_{\alpha\beta}}\bar{\delta}g_{\alpha\beta} + \frac{\partial\mathbf{D}^\mu}{\partial(\partial_\gamma g_{\alpha\beta})}\partial_\gamma\bar{\delta}g_{\alpha\beta} \\ &\quad + (\mathbf{G} + \partial_\alpha\mathbf{D}^\alpha)\xi^\mu \end{aligned} \quad (1.57)$$

となる。これを(1.52)に代入して、

$$\begin{aligned} 2\kappa\delta S_G &= \int_V d^D x \xi^\mu(2\partial_\alpha\mathbf{G}^\alpha_\mu - \partial_\mu g_{\alpha\beta}\mathbf{G}^{\alpha\beta}) \\ &\quad + \int_V d^D x \partial_\mu\mathbf{S}^\mu \equiv 0 \end{aligned} \quad (1.58)$$

を得る。第2項は ∂V での表面積分となり、これが0になるように ξ^μ を選ぶことが出来る。よって、第1項から、

$$\partial_\alpha\mathbf{G}^\alpha_\mu - \frac{1}{2}\partial_\mu g_{\alpha\beta}\mathbf{G}^{\alpha\beta} \equiv 0 \quad (1.59)$$

を得る。これは(1.17)であり、ビアンキ恒等式である。

(1.59) を (1.58) に代入して、

$$\partial_\mu \mathbf{S}^\mu \equiv 0 \quad (1.60)$$

という恒等式が得られる。今、

$$\frac{1}{2\kappa} \mathbf{S}^\mu = \mathbf{B}^\mu_\gamma \xi^\gamma + \mathbf{C}^{\mu,\alpha}_\gamma \partial_\alpha \xi^\gamma + \mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}_\gamma \partial_\alpha \partial_\beta \xi^\gamma \quad (1.61)$$

と置く ($\mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}_\gamma = \mathbf{F}^{\mu,\beta\alpha}_\gamma$ とする) と、 ξ^γ , $\partial_\alpha \xi^\gamma$, $\partial_\alpha \partial_\beta \xi^\gamma$, $\partial_\alpha \partial_\beta \partial_\gamma \xi^\mu$ の係数をそれぞれ 0 と置くことで、

$$\partial_\mu \mathbf{B}^\mu_\gamma \equiv 0, \quad (1.62)$$

$$\mathbf{B}^\mu_\gamma + \partial_\alpha \mathbf{C}^{\alpha,\mu}_\gamma \equiv 0, \quad (1.63)$$

$$\mathbf{C}^{(\alpha,\beta)}_\gamma + \partial_\mu \mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}_\gamma \equiv 0, \quad (1.64)$$

$$\mathbf{F}^{(\gamma,\alpha\beta)}_\mu \equiv 0 \quad (1.65)$$

を得る。ここで、 (\dots) は対称化記号であり、

$$\mathbf{C}^{(\alpha,\beta)}_\gamma = \frac{1}{2} (\mathbf{C}^{\alpha,\beta}_\gamma + \mathbf{C}^{\beta,\alpha}_\gamma), \quad (1.66)$$

$$\mathbf{F}^{(\gamma,\alpha\beta)}_\mu = \frac{1}{3} (\mathbf{F}^{\gamma,\alpha\beta}_\mu + \mathbf{F}^{\alpha,\beta\gamma}_\mu + \mathbf{F}^{\beta,\gamma\alpha}_\mu) \quad (1.67)$$

である。さて、

$$\begin{aligned} \mathbf{S}^\mu &= \xi^\lambda (-2\mathbf{G}^\mu_\lambda + \mathbf{G}\delta^\mu_\lambda + \partial_\alpha \mathbf{D}^\alpha \delta^\mu_\lambda) - \left(\frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_\mu g_{\alpha\beta})} + \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial g_{\alpha\beta}} \right) (2\partial_\alpha \xi^\lambda g_{\lambda\beta} + \xi^\lambda \partial_\lambda g_{\alpha\beta}) \\ &\quad - \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial (\partial_\gamma g_{\alpha\beta})} (2\partial_\gamma \partial_\alpha \xi^\lambda g_{\lambda\beta} + 2\partial_\alpha \xi^\lambda \partial_\gamma g_{\lambda\beta} + \partial_\gamma \xi^\lambda \partial_\lambda g_{\alpha\beta} + \xi^\lambda \partial_\gamma \partial_\lambda g_{\alpha\beta}) \end{aligned} \quad (1.68)$$

なので、 \mathbf{B}^μ_γ , $\mathbf{C}^{\mu,\alpha}_\gamma$, $\mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}_\gamma$ は以下のようになる：

$$\mathbf{B}^\mu_\gamma = -\left(\frac{1}{\kappa} \mathbf{G}^\mu_\gamma + \mathbf{t}^\mu_\gamma \right) + \frac{1}{2\kappa} \partial_\sigma (\mathbf{D}^\sigma \delta^\mu_\gamma - \mathbf{D}^\mu \delta^\sigma_\gamma), \quad (1.69)$$

$$\mathbf{C}^{\mu,\alpha}_\gamma = -\frac{1}{\kappa} \left(\frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_\mu g_{\alpha\beta})} g_{\gamma\beta} + \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial g_{\alpha\beta}} g_{\gamma\beta} + \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial (\partial_\lambda g_{\alpha\beta})} \partial_\lambda g_{\gamma\beta} + \frac{1}{2} \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial (\partial_\alpha g_{\mu\nu})} \partial_\gamma g_{\mu\nu} \right), \quad (1.70)$$

$$\mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}_\gamma = -\frac{1}{2\kappa} \left(\frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial (\partial_\beta g_{\alpha\delta})} + \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial (\partial_\alpha g_{\beta\delta})} \right) g_{\gamma\delta}. \quad (1.71)$$

\mathbf{B}^μ_γ の最後の項で、

$$\partial_\gamma \mathbf{D}^\mu = \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial g_{\alpha\beta}} \partial_\gamma g_{\alpha\beta} + \frac{\partial \mathbf{D}^\mu}{\partial (\partial_\delta g_{\alpha\beta})} \partial_\gamma \partial_\delta g_{\alpha\beta} \quad (1.72)$$

を用いた。なお、 \mathbf{t}^μ_γ は (1.36) で定義される。 \mathbf{t}^μ_γ はアフィン変換 (1.43) に対してテンソルとして振る舞う。

(1.62), (1.69) より、

$$\partial_\mu \left(\frac{1}{\kappa} \mathbf{G}^\mu_\gamma + \mathbf{t}^\mu_\gamma \right) \equiv 0 \quad (1.73)$$

を得る。これとアインシュタイン方程式より、 t^μ_γ はエネルギー擬テンソルであることが分かる。
 \tilde{S}_G に対しては、

$$\partial_\alpha \partial_\beta \xi^\gamma = 0 \quad (1.74)$$

となるような任意の微小な ξ^γ について同様の議論が成り立ち、

$$\partial_\mu {}^{(0)}S^\mu \equiv 0 \quad (1.75)$$

となる。ここで、 ${}^{(0)}S^\mu$ は S^μ で $D^\mu \rightarrow 0$ としたものである。よって、

$$\frac{1}{2\kappa} {}^{(0)}S^\mu = {}^{(0)}B^\mu_\gamma \xi^\gamma + {}^{(0)}C^{\mu\alpha}_\gamma \partial_\alpha \xi^\gamma \quad (1.76)$$

と置くと、

$$\partial_\mu {}^{(0)}B^\mu_\gamma \equiv 0, \quad (1.77)$$

$${}^{(0)}B^\mu_\gamma + \partial_\alpha {}^{(0)}C^{\alpha\mu}_\gamma \equiv 0 \quad (1.78)$$

を得る。 ${}^{(0)}B^\mu_\gamma$, ${}^{(0)}C^{\mu,\alpha}_\gamma$ は B^μ_γ , $C^{\mu,\alpha}_\gamma$ で $D^\mu \rightarrow 0$ としたものである：

$${}^{(0)}B^\mu_\gamma = -\left(\frac{1}{\kappa} G^\mu_\gamma + t^\mu_\gamma\right), \quad (1.79)$$

$${}^{(0)}C^{\mu\alpha}_\gamma = -\frac{1}{\kappa} \frac{\partial G}{\partial(\partial_\mu g_{\alpha\beta})} g_{\gamma\beta}. \quad (1.80)$$

(1.78), (1.79), (1.80) より、 ${}^{(0)}C^{\mu\alpha}_\gamma$ が擬スーパー・ポテンシャルだと分かる^{4) 5)}。
 さて、(1.62), (1.63), (1.69), (1.70) より、

$$\frac{1}{\kappa} G^\mu_\nu + t^\mu_\nu \equiv \partial_\lambda \left[-\frac{1}{\kappa} \delta_\nu^{[\lambda} D^{\mu]} + C^{\lambda,\mu}_\nu \right] \quad (1.81)$$

である。ここで、 $[\dots]$ は反対称化記号で、

$$A^{[\mu\nu]} = \frac{1}{2}(A^{\mu\nu} - A^{\nu\mu}) \quad (1.82)$$

である。ここで、

$$\begin{aligned} C^{\lambda,\mu}_\nu &= C^{[\lambda,\mu]}_\nu + C^{(\lambda,\mu)}_\nu \\ &\equiv C^{[\lambda,\mu]}_\nu - \partial_\rho F^{\rho,\lambda\mu}_\nu \end{aligned} \quad (1.83)$$

である。(1.64) を用いた。よって、

$$\begin{aligned} \frac{1}{\kappa} G^\mu_\nu + t^\mu_\nu &\equiv \partial_\lambda \left[-\frac{1}{\kappa} \delta_\nu^{[\lambda} D^{\mu]} + C^{[\lambda,\mu]}_\nu \right] \\ &\quad - \frac{1}{2} \partial_\lambda \partial_\rho (F^{\rho,\lambda\mu}_\nu + F^{\lambda,\rho\mu}_\nu) \end{aligned} \quad (1.84)$$

⁴⁾(1.73) と (1.78), (1.79), (1.80) より、(1.39) が従う。

⁵⁾アインシュタインのエネルギー擬テンソルと対応する擬スーパー・ポテンシャルは、アインシュタインにより 1916 年に発見された。

となる。(1.65) より、

$$\mathbf{F}^{\rho,\lambda\mu}{}_{\nu} + \mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}{}_{\nu} \equiv -\mathbf{F}^{\mu,\lambda\rho}{}_{\nu} \quad (1.85)$$

である。よって、

$$\begin{aligned} \mathbf{F}^{\rho,\lambda\mu}{}_{\nu} + \mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}{}_{\nu} &\equiv \frac{1}{3} \left[\mathbf{F}^{\rho,\lambda\mu}{}_{\nu} + \mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}{}_{\nu} + 2(-\mathbf{F}^{\mu,\lambda\rho}{}_{\nu}) \right] \\ &= \frac{1}{3} \left[(\mathbf{F}^{\rho,\lambda\mu}{}_{\nu} - \mathbf{F}^{\mu,\lambda\rho}{}_{\nu}) + (\mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}{}_{\nu} - \mathbf{F}^{\mu,\rho\lambda}{}_{\nu}) \right] \end{aligned} \quad (1.86)$$

であり、

$$-\frac{1}{2} \partial_{\lambda} \partial_{\rho} (\mathbf{F}^{\rho,\lambda\mu}{}_{\nu} + \mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}{}_{\nu}) \equiv \partial_{\lambda} \mathbf{u}^{\lambda\mu}{}_{\nu}, \quad (1.87)$$

$$\mathbf{u}^{\lambda\mu}{}_{\nu} := \partial_{\rho} \mathbf{v}^{\rho\lambda\mu}{}_{\nu} \equiv \mathbf{u}^{[\lambda\mu]}{}_{\nu}, \quad (1.88)$$

$$\mathbf{v}^{\rho\lambda\mu}{}_{\nu} := -\frac{1}{3} (\mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}{}_{\nu} - \mathbf{F}^{\mu,\rho\lambda}{}_{\nu}) = \mathbf{v}^{\rho[\lambda\mu]}{}_{\nu} \quad (1.89)$$

となる。以上より、

$$\frac{1}{\kappa} \mathbf{G}^{\mu}{}_{\nu} + \mathbf{t}^{\mu}{}_{\nu} \equiv \partial_{\lambda} \mathbf{U}^{\lambda\mu}{}_{\nu}, \quad (1.90)$$

$$\mathbf{U}^{\lambda\mu}{}_{\nu} := -\frac{1}{\kappa} \delta_{\nu}^{[\lambda} \mathbf{D}^{\mu]} + \mathbf{C}^{[\lambda,\mu]}{}_{\nu} - \frac{1}{3} \partial_{\rho} (\mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}{}_{\nu} - \mathbf{F}^{\mu,\rho\lambda}{}_{\nu}) = \mathbf{U}^{[\lambda\mu]}{}_{\nu} \quad (1.91)$$

を得る。この $\mathbf{U}^{\lambda\mu}{}_{\nu}$ はスーパー・ポテンシャルである (この記事では内山のスーパーポテンシャルと呼ぶ)。

1.4 補足

\mathbf{S}^{μ} のことを $\mathbf{S}^{\mu}[\xi]$ と書く。 ε を微小なスカラー、 ξ^{μ} を任意のベクトル場とし、

$$\mathbf{S}^{\mu}[\varepsilon\xi] = \varepsilon \mathbf{B}^{\mu}[\xi] + \partial_{\alpha} \varepsilon \mathbf{C}^{\mu,\alpha}[\xi] + \partial_{\alpha} \partial_{\beta} \varepsilon \mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}[\xi] \quad (1.92)$$

と置くと、

$$\mathbf{B}^{\mu}[\xi] = \xi^{\gamma} \mathbf{B}^{\mu}{}_{\gamma} + \partial_{\alpha} \xi^{\gamma} \mathbf{C}^{\mu,\alpha}{}_{\gamma} + \partial_{\alpha} \partial_{\beta} \xi^{\gamma} \mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}{}_{\gamma}, \quad (1.93)$$

$$\mathbf{C}^{\mu,\alpha}[\xi] = \xi^{\gamma} \mathbf{C}^{\mu,\alpha}{}_{\gamma} + 2 \partial_{\beta} \xi^{\gamma} \mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}{}_{\gamma}, \quad (1.94)$$

$$\mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}[\xi] = \xi^{\gamma} \mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}{}_{\gamma} \quad (1.95)$$

となる。恒等式

$$\partial_{\mu} \mathbf{S}^{\mu}[\varepsilon\xi] \equiv 0 \quad (1.96)$$

の ε , $\partial_{\alpha} \varepsilon$, $\partial_{\alpha} \partial_{\beta} \varepsilon$ の係数より、

$$\partial_{\mu} \mathbf{B}^{\mu}[\xi] \equiv 0, \quad (1.97)$$

$$\mathbf{B}^{\mu}[\xi] + \partial_{\alpha} \mathbf{C}^{\alpha,\mu}[\xi] \equiv 0, \quad (1.98)$$

$$\mathbf{C}^{(\alpha,\beta)}[\xi] + \partial_{\mu} \mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}[\xi] \equiv 0, \quad (1.99)$$

$$\mathbf{F}^{(\mu,\alpha\beta)}[\xi] \equiv 0 \quad (1.100)$$

を得る。

2 具体的な計算

本章の計算は [1, 2, 3] には載っていないが、[5] に計算結果が載っている。本章の計算結果は [5] と一致する。

2.1 前章に現れた量の計算

前章での記号は、

$$\mathbf{G} = \sqrt{-g}G, \quad G = g^{\mu\nu} \left[\Gamma_{\gamma\nu}^{\rho} \Gamma_{\mu\rho}^{\gamma} - \Gamma_{\gamma\rho}^{\rho} \Gamma_{\mu\nu}^{\gamma} \right], \quad (2.1)$$

$$\mathbf{D}^{\rho} = \sqrt{-g}D^{\rho}, \quad D^{\rho} = g^{\mu\nu} \Gamma_{\mu\nu}^{\rho} - g^{\mu\rho} \Gamma_{\mu\nu}^{\nu}, \quad (2.2)$$

$$\mathbf{B}^{\mu}_{\gamma} = -\left(\frac{1}{\kappa} \mathbf{G}^{\mu}_{\gamma} + \mathbf{t}^{\mu}_{\gamma} \right) + \frac{1}{2\kappa} \partial_{\sigma} (\mathbf{D}^{\sigma} \delta_{\gamma}^{\mu} - \mathbf{D}^{\mu} \delta_{\gamma}^{\sigma}), \quad (2.3)$$

$$\mathbf{C}^{\mu,\alpha}_{\gamma} = -\frac{1}{\kappa} \left(\frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_{\mu} g_{\alpha\beta})} g_{\gamma\beta} + \frac{\partial \mathbf{D}^{\mu}}{\partial g_{\alpha\beta}} g_{\gamma\beta} + \frac{\partial \mathbf{D}^{\mu}}{\partial (\partial_{\lambda} g_{\alpha\beta})} \partial_{\lambda} g_{\gamma\beta} + \frac{1}{2} \frac{\partial \mathbf{D}^{\mu}}{\partial (\partial_{\alpha} g_{\mu\nu})} \partial_{\gamma} g_{\mu\nu} \right), \quad (2.4)$$

$$\mathbf{F}^{\mu,\alpha\beta}_{\gamma} = -\frac{1}{2\kappa} \left(\frac{\partial \mathbf{D}^{\mu}}{\partial (\partial_{\beta} g_{\alpha\delta})} + \frac{\partial \mathbf{D}^{\mu}}{\partial (\partial_{\alpha} g_{\beta\delta})} \right) g_{\gamma\delta}, \quad (2.5)$$

$${}^{(0)}\mathbf{C}^{\mu\alpha}_{\gamma} = -\frac{1}{\kappa} \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_{\mu} g_{\alpha\beta})} g_{\gamma\beta}, \quad (2.6)$$

$$\mathbf{t}^{\mu}_{\nu} = \frac{1}{2\kappa} \left(\frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_{\mu} g_{\alpha\beta})} \partial_{\nu} g_{\alpha\beta} - \delta_{\nu}^{\mu} \mathbf{G} \right) \quad (2.7)$$

であった。これらを具体的に計算する。

今、

$$\Gamma_{\lambda\mu\nu} := \frac{1}{2} (\partial_{\mu} g_{\lambda\nu} + \partial_{\nu} g_{\lambda\mu} - \partial_{\lambda} g_{\mu\nu}) \quad (2.8)$$

とすると、

$$\begin{aligned} G &= g^{\mu\nu} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\beta} [\Gamma_{\alpha\gamma\nu} \Gamma_{\beta\mu\rho} - \Gamma_{\alpha\gamma\rho} \Gamma_{\beta\mu\nu}] \\ &= g^{\mu\nu} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\beta} [\Gamma_{\alpha\gamma\nu} \Gamma_{\beta\mu\rho} - \frac{1}{2} \partial_{\gamma} g_{\alpha\rho} \Gamma_{\beta\mu\nu}] \end{aligned} \quad (2.9)$$

である。また、

$$\frac{\partial \Gamma_{\lambda\mu\nu}}{\partial (\partial_{\sigma} g_{\delta\tau})} = \frac{1}{2} (\delta_{\mu}^{\sigma} \delta_{\lambda\nu}^{\delta\tau} + \delta_{\nu}^{\sigma} \delta_{\lambda\mu}^{\delta\tau} - \delta_{\lambda}^{\sigma} \delta_{\mu\nu}^{\delta\tau}) \quad (2.10)$$

となる。ここで、

$$\delta_{\mu\nu}^{\alpha\beta} = \delta_{\mu}^{(\alpha} \delta_{\nu}^{\beta)} \quad (2.11)$$

である。よって、

$$\begin{aligned} G^{\sigma,\delta\tau} &:= \frac{\partial G}{\partial (\partial_{\sigma} g_{\delta\tau})} \\ &= \frac{1}{2} g^{\mu\nu} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\beta} [(\delta_{\gamma}^{\sigma} \delta_{\alpha\nu}^{\delta\tau} + \delta_{\nu}^{\sigma} \delta_{\alpha\gamma}^{\delta\tau} - \delta_{\alpha}^{\sigma} \delta_{\gamma\nu}^{\delta\tau}) \Gamma_{\beta\mu\rho} + \Gamma_{\alpha\gamma\nu} (\delta_{\mu}^{\sigma} \delta_{\beta\rho}^{\delta\tau} + \delta_{\rho}^{\sigma} \delta_{\beta\mu}^{\delta\tau} - \delta_{\beta}^{\sigma} \delta_{\mu\rho}^{\delta\tau}) \\ &\quad - \delta_{\gamma}^{\sigma} \delta_{\alpha\rho}^{\delta\tau} \Gamma_{\beta\mu\nu} - \Gamma_{\alpha\gamma\rho} (\delta_{\mu}^{\sigma} \delta_{\beta\nu}^{\delta\tau} + \delta_{\nu}^{\sigma} \delta_{\beta\mu}^{\delta\tau} - \delta_{\beta}^{\sigma} \delta_{\mu\nu}^{\delta\tau})] \end{aligned} \quad (2.12)$$

となる。これより、

$$\begin{aligned}
G^{\sigma,\delta\tau} &= \frac{1}{2}[g^{\mu\nu}g^{\rho\alpha}(\delta_\gamma^\sigma\delta_{\alpha\nu}^{\delta\tau} + \delta_\nu^\sigma\delta_{\alpha\gamma}^{\delta\tau} - \delta_\alpha^\sigma\delta_{\gamma\nu}^{\delta\tau})\Gamma_{\mu\rho}^\gamma + g^{\mu\nu}g^{\gamma\beta}\Gamma_{\gamma\nu}^\rho(\delta_\mu^\sigma\delta_{\beta\rho}^{\delta\tau} + \delta_\rho^\sigma\delta_{\beta\mu}^{\delta\tau} - \delta_\beta^\sigma\delta_{\mu\rho}^{\delta\tau}) \\
&\quad - g^{\mu\nu}g^{\rho\alpha}\delta_\gamma^\sigma\delta_{\alpha\rho}^{\delta\tau}\Gamma_{\mu\nu}^\gamma - g^{\mu\nu}g^{\gamma\beta}\Gamma_\gamma(\delta_\mu^\sigma\delta_{\beta\nu}^{\delta\tau} + \delta_\nu^\sigma\delta_{\beta\mu}^{\delta\tau} - \delta_\beta^\sigma\delta_{\mu\nu}^{\delta\tau})] \\
&=: (1) + (2) + (3) + (4)
\end{aligned} \tag{2.13}$$

となる。ここで、

$$\Gamma_\gamma := \Gamma_{\gamma\rho}^\rho \tag{2.14}$$

である。まず、

$$\begin{aligned}
(1) &= \frac{1}{2}g^{\mu\nu}g^{\rho\alpha}(\delta_\gamma^\sigma\delta_{\alpha\nu}^{\delta\tau} + \delta_\nu^\sigma\delta_{\alpha\gamma}^{\delta\tau} - \delta_\alpha^\sigma\delta_{\gamma\nu}^{\delta\tau})\Gamma_{\mu\rho}^\gamma \\
&= \frac{1}{4}[\Gamma_{\mu\rho}^\sigma(g^{\mu\tau}g^{\rho\delta} + g^{\mu\delta}g^{\rho\tau}) + g^{\mu\sigma}(g^{\rho\delta}\Gamma_{\mu\rho}^\tau + g^{\rho\tau}\Gamma_{\mu\rho}^\delta) - g^{\rho\sigma}(g^{\mu\tau}\Gamma_{\mu\rho}^\delta + g^{\mu\delta}\Gamma_{\mu\rho}^\tau)] \\
&= \frac{1}{4}\Gamma_{\mu\rho}^\sigma(g^{\mu\tau}g^{\rho\delta} + g^{\mu\delta}g^{\rho\tau})
\end{aligned} \tag{2.15}$$

である。次に、

$$\begin{aligned}
(2) &= \frac{1}{2}g^{\mu\nu}g^{\gamma\beta}\Gamma_{\gamma\nu}^\rho(\delta_\mu^\sigma\delta_{\beta\rho}^{\delta\tau} + \delta_\rho^\sigma\delta_{\beta\mu}^{\delta\tau} - \delta_\beta^\sigma\delta_{\mu\rho}^{\delta\tau}) \\
&= \frac{1}{4}[g^{\sigma\nu}(g^{\gamma\delta}\Gamma_{\gamma\nu}^\tau + g^{\gamma\tau}\Gamma_{\gamma\nu}^\delta) + \Gamma_{\gamma\nu}^\sigma(g^{\tau\nu}g^{\gamma\delta} + g^{\delta\nu}g^{\gamma\tau}) - g^{\gamma\sigma}(g^{\delta\nu}\Gamma_{\gamma\nu}^\tau + g^{\tau\nu}\Gamma_{\gamma\nu}^\delta)] \\
&= \frac{1}{4}\Gamma_{\gamma\nu}^\sigma(g^{\tau\nu}g^{\gamma\delta} + g^{\delta\nu}g^{\gamma\tau})
\end{aligned} \tag{2.16}$$

であり、

$$\begin{aligned}
(3) &= -\frac{1}{2}g^{\mu\nu}g^{\rho\alpha}\delta_\gamma^\sigma\delta_{\alpha\rho}^{\delta\tau}\Gamma_{\mu\nu}^\gamma \\
&= \frac{1}{4}(-2g^{\mu\nu}g^{\delta\tau}\Gamma_{\mu\nu}^\sigma),
\end{aligned} \tag{2.17}$$

$$\begin{aligned}
(4) &= -\frac{1}{2}g^{\mu\nu}g^{\gamma\beta}\Gamma_\gamma(\delta_\mu^\sigma\delta_{\beta\nu}^{\delta\tau} + \delta_\nu^\sigma\delta_{\beta\mu}^{\delta\tau} - \delta_\beta^\sigma\delta_{\mu\nu}^{\delta\tau}) \\
&= \frac{1}{4}[-2(g^{\sigma\tau}g^{\gamma\delta} + g^{\sigma\delta}g^{\gamma\tau})\Gamma_\gamma + 2g^{\delta\tau}g^{\sigma\gamma}\Gamma_\gamma]
\end{aligned} \tag{2.18}$$

となる。よって、

$$\begin{aligned}
G^{\sigma,\delta\tau} &= \frac{1}{4}[2\Gamma_{\mu\rho}^\sigma(g^{\mu\tau}g^{\rho\delta} + g^{\mu\delta}g^{\rho\tau}) - 2g^{\mu\nu}g^{\delta\tau}\Gamma_{\mu\nu}^\sigma - 2(g^{\sigma\tau}g^{\gamma\delta} + g^{\sigma\delta}g^{\gamma\tau})\Gamma_\gamma + 2g^{\delta\tau}g^{\sigma\gamma}\Gamma_\gamma] \\
&= \frac{1}{2}[\Gamma_{\mu\rho}^\sigma(2g^{\mu\tau}g^{\rho\delta} - g^{\mu\rho}g^{\delta\tau}) + (g^{\delta\tau}g^{\sigma\gamma} - g^{\sigma\tau}g^{\gamma\delta} - g^{\sigma\delta}g^{\gamma\tau})\Gamma_\gamma]
\end{aligned} \tag{2.19}$$

となる。これより、

$$\begin{aligned}
{}^{(0)}\mathbf{C}^{\sigma\delta}{}_\alpha &= -\frac{1}{\kappa}\sqrt{-g}G^{\sigma,\delta\tau}g_{\tau\alpha} \\
&= -\frac{\sqrt{-g}}{2\kappa}[\Gamma_{\mu\rho}^\sigma(2\delta_\alpha^\mu g^{\rho\delta} - g^{\mu\rho}\delta_\alpha^\delta) + (\delta_\alpha^\delta g^{\sigma\gamma} - \delta_\alpha^\sigma g^{\gamma\delta} - g^{\sigma\delta}\delta_\alpha^\gamma)\Gamma_\gamma] \\
&= -\frac{\sqrt{-g}}{2\kappa}[(2\Gamma_{\alpha\rho}^\sigma g^{\rho\delta} - \Gamma_{\mu\rho}^\sigma g^{\mu\rho}\delta_\alpha^\delta) + (\delta_\alpha^\delta g^{\sigma\gamma}\Gamma_\gamma - \delta_\alpha^\sigma g^{\gamma\delta}\Gamma_\gamma - g^{\sigma\delta}\Gamma_\alpha)] \\
&= \frac{1}{2\kappa}\sqrt{-g}[\delta_\alpha^\delta(\Gamma_{\mu\rho}^\sigma g^{\mu\rho} - \Gamma_\gamma g^{\sigma\gamma}) + \delta_\alpha^\sigma\Gamma_\gamma g^{\gamma\delta} + \Gamma_\alpha g^{\sigma\delta} - 2\Gamma_{\alpha\rho}^\sigma g^{\rho\delta}]
\end{aligned} \tag{2.20}$$

となる。

次に、

$$D^{\mu\sigma,\alpha\beta} := \frac{\partial D^\mu}{\partial(\partial_\sigma g_{\alpha\beta})} \quad (2.21)$$

を調べる。まず、

$$D^\kappa = (g^{\mu\nu} g^{\kappa\rho} - g^{\mu\kappa} g^{\nu\rho}) \Gamma_{\rho\mu\nu} \quad (2.22)$$

である。よって、

$$\begin{aligned} D^{\kappa\sigma,\alpha\beta} &= \frac{1}{2}(g^{\mu\nu} g^{\kappa\rho} - g^{\mu\kappa} g^{\nu\rho})(\delta_\mu^\sigma \delta_{\rho\nu}^{\alpha\beta} + \delta_\nu^\sigma \delta_{\rho\mu}^{\alpha\beta} - \delta_\rho^\sigma \delta_{\mu\nu}^{\alpha\beta}) \\ &= \frac{1}{4}(2g^{\sigma\beta} g^{\kappa\alpha} + 2g^{\sigma\alpha} g^{\kappa\beta} - 2g^{\alpha\beta} g^{\kappa\sigma} \\ &\quad - 2g^{\sigma\kappa} g^{\beta\alpha} - g^{\beta\kappa} g^{\sigma\alpha} - g^{\alpha\kappa} g^{\sigma\beta} + g^{\alpha\kappa} g^{\beta\sigma} + g^{\beta\kappa} g^{\alpha\sigma}) \\ &= \frac{1}{2}(g^{\sigma\beta} g^{\kappa\alpha} + g^{\sigma\alpha} g^{\kappa\beta} - 2g^{\alpha\beta} g^{\kappa\sigma}) \end{aligned} \quad (2.23)$$

となる。これより、

$$\begin{aligned} \mathbf{F}^{\kappa,\alpha\beta}_\gamma &= -\frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} (D^{\kappa\beta,\alpha\delta} + D^{\kappa\alpha,\beta\delta}) g_{\gamma\delta} \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{4\kappa} (-g^{\beta\delta} g^{\kappa\alpha} - g^{\beta\alpha} g^{\kappa\delta} + 2g^{\alpha\delta} g^{\kappa\beta} - g^{\alpha\delta} g^{\kappa\beta} - g^{\alpha\beta} g^{\kappa\delta} + 2g^{\beta\delta} g^{\kappa\alpha}) g_{\gamma\delta} \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{4\kappa} (-2g^{\alpha\beta} g^{\kappa\delta} + g^{\alpha\delta} g^{\kappa\beta} + g^{\beta\delta} g^{\kappa\alpha}) g_{\gamma\delta} \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{4\kappa} (-2\delta_\gamma^\kappa g^{\alpha\beta} + \delta_\gamma^\alpha g^{\kappa\beta} + \delta_\gamma^\beta g^{\kappa\alpha}) \end{aligned} \quad (2.24)$$

を得る。

次に、 $\mathbf{C}^{\mu,\alpha}_\gamma$ を調べる。今、

$$(1) \mathbf{c}^{\mu,\alpha}_\gamma := \frac{\partial D^\mu}{\partial g_{\alpha\beta}} g_{\gamma\beta}, \quad (2.25)$$

$$(2) \mathbf{c}^{\mu,\alpha}_\gamma := \frac{\partial D^\mu}{\partial(\partial_\lambda g_{\alpha\beta})} \partial_\lambda g_{\gamma\beta}, \quad (2.26)$$

$$(3) \mathbf{c}^{\mu,\alpha}_\gamma := \frac{1}{2} \frac{\partial D^\mu}{\partial(\partial_\alpha g_{\mu\nu})} \partial_\gamma g_{\mu\nu}, \quad (2.27)$$

$$(0) \mathbf{c}^{\mu,\alpha}_\gamma := -\kappa \cdot (0) \mathbf{C}^{\mu\alpha}_\gamma = \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial(\partial_\mu g_{\alpha\beta})} g_{\gamma\beta} \quad (2.28)$$

とすると、

$$\mathbf{C}^{\mu,\alpha}_\gamma = -\frac{1}{\kappa} \sum_{n=0}^3 (n) \mathbf{c}^{\mu,\alpha}_\gamma \quad (2.29)$$

である。まず $(1) \mathbf{c}^{\mu,\alpha}_\gamma$ を調べる。今、

$$d^{\kappa,\alpha\beta} := \frac{\partial D^\kappa}{\partial g_{\alpha\beta}} \quad (2.30)$$

と置く。関係式

$$\delta g^{\sigma\lambda} = -g^{\sigma(\alpha} g^{\beta)\lambda} \delta g_{\alpha\beta} \quad (2.31)$$

より、

$$\begin{aligned} d^{\kappa,\alpha\beta} &= (-g^{\mu(\alpha} g^{\beta)\nu} g^{\kappa\rho} - g^{\mu\nu} g^{\kappa(\alpha} g^{\beta)\rho} + g^{\mu(\alpha} g^{\beta)\kappa} g^{\nu\rho} + g^{\mu\kappa} g^{\nu(\alpha} g^{\beta)\rho}) \Gamma_{\rho\mu\nu} \\ &= -g^{\mu\alpha} g^{\beta\nu} \Gamma_{\mu\nu}^{\kappa} - \frac{1}{2} g^{\mu\nu} (g^{\alpha\kappa} \Gamma_{\mu\nu}^{\beta} + g^{\beta\kappa} \Gamma_{\mu\nu}^{\alpha}) \\ &\quad + \frac{1}{2} (g^{\mu\alpha} g^{\beta\kappa} + g^{\mu\beta} g^{\alpha\kappa}) \Gamma_{\mu} + \frac{1}{2} g^{\mu\kappa} (g^{\nu\alpha} \Gamma_{\mu\nu}^{\beta} + g^{\nu\beta} \Gamma_{\mu\nu}^{\alpha}) \end{aligned} \quad (2.32)$$

である。よって、

$$\begin{aligned} \frac{\partial \mathbf{D}^{\kappa}}{\partial g_{\alpha\beta}} &= \frac{1}{2} g^{\alpha\beta} \mathbf{D}^{\kappa} + \sqrt{-g} d^{\kappa,\alpha\beta} \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2} \left[g^{\alpha\beta} (g^{\mu\nu} \Gamma_{\mu\nu}^{\kappa} - g^{\mu\kappa} \Gamma_{\mu}) - 2g^{\mu\alpha} g^{\beta\nu} \Gamma_{\mu\nu}^{\kappa} - g^{\mu\nu} (g^{\alpha\kappa} \Gamma_{\mu\nu}^{\beta} + g^{\beta\kappa} \Gamma_{\mu\nu}^{\alpha}) \right. \\ &\quad \left. + (g^{\mu\alpha} g^{\beta\kappa} + g^{\mu\beta} g^{\alpha\kappa}) \Gamma_{\mu} + g^{\mu\kappa} (g^{\nu\alpha} \Gamma_{\mu\nu}^{\beta} + g^{\nu\beta} \Gamma_{\mu\nu}^{\alpha}) \right] \end{aligned} \quad (2.33)$$

となる。これより、

$$\begin{aligned} {}^{(1)}\mathbf{c}^{\kappa,\alpha}_{\gamma} &= \frac{\partial \mathbf{D}^{\kappa}}{\partial g_{\alpha\beta}} g_{\gamma\beta} \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2} \left[\delta_{\gamma}^{\alpha} (g^{\mu\nu} \Gamma_{\mu\nu}^{\kappa} - g^{\mu\kappa} \Gamma_{\mu}) - 2g^{\mu\alpha} \Gamma_{\mu\gamma}^{\kappa} - g^{\mu\nu} (g^{\alpha\kappa} g_{\beta\gamma} \Gamma_{\mu\nu}^{\beta} + \delta_{\gamma}^{\kappa} \Gamma_{\mu\nu}^{\alpha}) \right. \\ &\quad \left. + (g^{\mu\alpha} \delta_{\gamma}^{\kappa} \Gamma_{\mu} + g^{\alpha\kappa} \Gamma_{\gamma}) + g^{\mu\kappa} (g^{\nu\alpha} g_{\beta\gamma} \Gamma_{\mu\nu}^{\beta} + \Gamma_{\mu\gamma}^{\alpha}) \right] \end{aligned} \quad (2.34)$$

となる。

次に、 ${}^{(2)}\mathbf{c}^{\mu,\alpha}_{\gamma}$, ${}^{(3)}\mathbf{c}^{\mu,\alpha}_{\gamma}$ を調べる。関係式

$$\partial_{\lambda} g_{\mu\nu} = g_{\mu\rho} \Gamma^{\rho}_{\nu\lambda} + g_{\nu\rho} \Gamma^{\rho}_{\lambda\mu} \quad (2.35)$$

より、

$$\begin{aligned} {}^{(2)}\mathbf{c}^{\kappa,\alpha}_{\gamma} &= \frac{\partial \mathbf{D}^{\kappa}}{\partial (\partial_{\lambda} g_{\alpha\beta})} \partial_{\lambda} g_{\gamma\beta} \\ &= \sqrt{-g} D^{\kappa\lambda,\alpha\beta} (g_{\gamma\alpha} \Gamma^{\alpha}_{\beta\lambda} + g_{\beta\alpha} \Gamma^{\alpha}_{\lambda\gamma}) \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2} (g^{\lambda\beta} g^{\kappa\alpha} + g^{\lambda\alpha} g^{\kappa\beta} - 2g^{\alpha\beta} g^{\kappa\lambda}) (g_{\gamma\rho} \Gamma^{\rho}_{\beta\lambda} + g_{\beta\rho} \Gamma^{\rho}_{\lambda\gamma}) \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2} (g^{\lambda\beta} g^{\kappa\alpha} g_{\gamma\rho} \Gamma^{\rho}_{\beta\lambda} + g^{\kappa\alpha} \Gamma_{\gamma} + g^{\lambda\alpha} g^{\kappa\beta} g_{\gamma\rho} \Gamma^{\rho}_{\beta\lambda} + g^{\lambda\alpha} \Gamma^{\kappa}_{\lambda\gamma} \\ &\quad - 2g^{\alpha\beta} g^{\kappa\lambda} g_{\gamma\rho} \Gamma^{\rho}_{\beta\lambda} - 2g^{\kappa\lambda} \Gamma^{\alpha}_{\lambda\gamma}) \end{aligned} \quad (2.36)$$

となる。また、

$$\begin{aligned}
{}^{(3)}\mathbf{c}^{\kappa,\alpha}_\gamma &:= \frac{1}{2} \frac{\partial \mathbf{D}^\kappa}{\partial (\partial_\alpha g_{\mu\nu})} \partial_\gamma g_{\mu\nu} \\
&= \frac{\sqrt{-g}}{2} \mathbf{D}^{\kappa\alpha,\mu\nu} \partial_\gamma g_{\mu\nu} \\
&= \frac{\sqrt{-g}}{2} \mathbf{D}^{\kappa\alpha,\mu\nu} (g_{\mu\rho} \Gamma^\rho_{\nu\gamma} + g_{\nu\rho} \Gamma^\rho_{\gamma\mu}) \\
&= \frac{\sqrt{-g}}{2} (g^{\alpha\nu} g^{\kappa\mu} + g^{\alpha\mu} g^{\kappa\nu} - 2g^{\mu\nu} g^{\kappa\alpha}) g_{\mu\rho} \Gamma^\rho_{\nu\gamma} \\
&= \frac{\sqrt{-g}}{2} (g^{\alpha\nu} \Gamma^\kappa_{\nu\gamma} + g^{\kappa\nu} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} - 2g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma)
\end{aligned} \tag{2.37}$$

である。なお、

$${}^{(0)}\mathbf{c}^{\kappa,\alpha}_\gamma = \frac{\sqrt{-g}}{2} \left[\delta_\gamma^\alpha (-g^{\mu\rho} \Gamma^\kappa_{\mu\rho} + g^{\kappa\lambda} \Gamma_\lambda) - \delta_\gamma^\kappa g^{\lambda\alpha} \Gamma_\lambda - g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma + 2g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} \right] \tag{2.38}$$

であった。

よって、

$$\begin{aligned}
-\kappa \mathbf{C}^{\kappa,\alpha}_\gamma &= \sum_{n=0}^3 {}^{(n)}\mathbf{c}^{\kappa,\alpha}_\gamma \\
&= \frac{\sqrt{-g}}{2} \left[\delta_\gamma^\alpha (-g^{\mu\rho} \Gamma^\kappa_{\mu\rho} + g^{\kappa\lambda} \Gamma_\lambda) - \delta_\gamma^\kappa g^{\lambda\alpha} \Gamma_\lambda - g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma + 2g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} \right. \\
&\quad + \delta_\gamma^\alpha (g^{\mu\nu} \Gamma^\kappa_{\mu\nu} - g^{\mu\kappa} \Gamma_\mu) - 2g^{\mu\alpha} \Gamma^\kappa_{\mu\gamma} - g^{\mu\nu} (g^{\alpha\kappa} g_{\beta\gamma} \Gamma^\beta_{\mu\nu} + \delta_\gamma^\kappa \Gamma^\alpha_{\mu\nu}) \\
&\quad + (g^{\mu\alpha} \delta_\gamma^\kappa \Gamma_\mu + g^{\alpha\kappa} \Gamma_\gamma) + g^{\mu\kappa} (g^{\nu\alpha} g_{\beta\gamma} \Gamma^\beta_{\mu\nu} + \Gamma^\alpha_{\mu\gamma}) \\
&\quad + g^{\lambda\beta} g^{\kappa\alpha} g_{\gamma\rho} \Gamma^\rho_{\beta\lambda} + g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma + g^{\lambda\alpha} g^{\kappa\beta} g_{\gamma\rho} \Gamma^\rho_{\beta\lambda} + g^{\lambda\alpha} \Gamma^\kappa_{\lambda\gamma} \\
&\quad - 2g^{\alpha\beta} g^{\kappa\lambda} g_{\gamma\rho} \Gamma^\rho_{\beta\lambda} - 2g^{\kappa\lambda} \Gamma^\alpha_{\lambda\gamma} \\
&\quad \left. + g^{\alpha\nu} \Gamma^\kappa_{\nu\gamma} + g^{\kappa\nu} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} - 2g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma \right]
\end{aligned} \tag{2.39}$$

である。整理すると、

$$\mathbf{C}^{\kappa,\alpha}_\gamma = \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[\delta_\gamma^\kappa g^{\mu\nu} \Gamma^\alpha_{\mu\nu} + g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma - 2g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} \right] \tag{2.40}$$

となる。

2.2 名前の付いたスーパー・ポテンシャル

今、

$$\mathbf{W}^{\kappa\rho,\alpha}_\gamma := \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} (g^{\alpha\kappa} \delta_\gamma^\rho - g^{\alpha\rho} \delta_\gamma^\kappa) = \frac{4}{3} \mathbf{F}^{[\kappa,\rho]\alpha}_\gamma = \mathbf{W}^{[\kappa\rho],\alpha}_\gamma \tag{2.41}$$

とし、

$$\mathbf{f}^{\kappa\rho}_\gamma := {}^{(0)}\mathbf{C}^{\kappa\rho}_\gamma - \partial_\rho \mathbf{W}^{\kappa\rho,\alpha}_\gamma = \mathbf{f}^{[\kappa\rho]}_\gamma, \tag{2.42}$$

$$\mathbf{m}^{\kappa\rho}_\gamma := \mathbf{C}^{\kappa,\rho}_\gamma - \partial_\rho \mathbf{W}^{\kappa\rho,\alpha}_\gamma = \mathbf{m}^{[\kappa\rho]}_\gamma \tag{2.43}$$

とする。 $f^{\kappa\rho}_\gamma$ は Freud のスーパー・ポテンシャルとなり、 $m^{\kappa\rho}_\gamma$ はメラーのスーパー・ポテンシャルとなる [5]。これらは、

$$\partial_\kappa f^{\kappa\rho}_\gamma = \partial_\kappa^{(0)} C^{\kappa\rho}_\gamma, \quad (2.44)$$

$$\partial_\kappa m^{\kappa\rho}_\gamma = \partial_\kappa C^{\kappa,\rho}_\gamma \quad (2.45)$$

を満たす。Freud のスーパー・ポテンシャルはアインシュタインのエネルギー擬テンソルを与え、メラーのスーパー・ポテンシャルはエネルギー擬テンソル

$${}^{(M)}\mathbf{t}^\mu_\nu := \mathbf{t}^\mu_\nu + \frac{1}{\kappa} \partial_\lambda \delta_\nu^{[\lambda} \mathbf{D}^{\mu]} \quad (2.46)$$

を与える。

さて、 $f^{\kappa\rho}_\gamma$ の表式を求めよう。まず、

$$\partial_\rho \sqrt{-g} = \sqrt{-g} \Gamma_\rho \quad (2.47)$$

なので、

$$\partial_\rho \mathbf{W}^{\kappa\rho,\alpha}_\gamma = \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[g^{\alpha\kappa} \Gamma_\gamma - \Gamma_\rho g^{\alpha\rho} \delta_\gamma^\kappa + \partial_\gamma g^{\alpha\kappa} - \partial_\rho g^{\alpha\rho} \delta_\gamma^\kappa \right] \quad (2.48)$$

となる。また、

$$\begin{aligned} \partial_\lambda g^{\alpha\beta} &= -g^{\mu\alpha} g^{\nu\beta} \partial_\lambda g_{\mu\nu} \\ &= -g^{\mu\alpha} g^{\nu\beta} (g_{\mu\rho} \Gamma^\rho_{\nu\lambda} + g_{\nu\rho} \Gamma^\rho_{\lambda\mu}) \\ &= -(g^{\nu\beta} \Gamma^\alpha_{\nu\lambda} + g^{\mu\alpha} \Gamma^\beta_{\lambda\mu}), \end{aligned} \quad (2.49)$$

$$\partial_\lambda g^{\alpha\lambda} = -(g^{\nu\lambda} \Gamma^\alpha_{\nu\lambda} + g^{\mu\alpha} \Gamma_\mu) \quad (2.50)$$

より、

$$\begin{aligned} \partial_\rho \mathbf{W}^{\kappa\rho,\alpha}_\gamma &= \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[g^{\alpha\kappa} \Gamma_\gamma - \Gamma_\rho g^{\alpha\rho} \delta_\gamma^\kappa - g^{\nu\kappa} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} - g^{\mu\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\mu} + (g^{\nu\lambda} \Gamma^\alpha_{\nu\lambda} + g^{\mu\alpha} \Gamma_\mu) \delta_\gamma^\kappa \right] \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[g^{\alpha\kappa} \Gamma_\gamma - g^{\nu\kappa} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} - g^{\mu\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\mu} + g^{\nu\lambda} \Gamma^\alpha_{\nu\lambda} \delta_\gamma^\kappa \right] \end{aligned} \quad (2.51)$$

なので、

$$\begin{aligned} f^{\kappa\alpha}_\gamma &= \frac{1}{2\kappa} \sqrt{-g} \left[\delta_\gamma^\alpha (g^{\mu\rho} \Gamma^\kappa_{\mu\rho} - g^{\kappa\lambda} \Gamma_\lambda) + \delta_\gamma^\kappa g^{\lambda\alpha} \Gamma_\lambda + g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma - 2g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} \right. \\ &\quad \left. - g^{\alpha\kappa} \Gamma_\gamma + g^{\nu\kappa} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} + g^{\mu\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\mu} - g^{\nu\lambda} \Gamma^\alpha_{\nu\lambda} \delta_\gamma^\kappa \right] \\ &= \frac{1}{2\kappa} \sqrt{-g} \left[\delta_\gamma^\alpha (g^{\mu\rho} \Gamma^\kappa_{\mu\rho} - g^{\kappa\lambda} \Gamma_\lambda) + \delta_\gamma^\kappa (g^{\lambda\alpha} \Gamma_\lambda - g^{\nu\lambda} \Gamma^\alpha_{\nu\lambda}) - g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} + g^{\nu\kappa} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} \right] \end{aligned} \quad (2.52)$$

となる。

$m^{\kappa\rho}_\gamma$ の表式は、

$$\begin{aligned} m^{\kappa\rho}_\gamma &= \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[\delta_\gamma^\kappa g^{\mu\nu} \Gamma^\alpha_{\mu\nu} + g^{\kappa\alpha} \Gamma_\gamma - 2g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} \right. \\ &\quad \left. - g^{\alpha\kappa} \Gamma_\gamma + g^{\nu\kappa} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} + g^{\mu\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\mu} - g^{\nu\lambda} \Gamma^\alpha_{\nu\lambda} \delta_\gamma^\kappa \right] \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[g^{\nu\kappa} \Gamma^\alpha_{\nu\gamma} - g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} \right] \end{aligned} \quad (2.53)$$

となる。

また、メラーのスーパー・ポテンシャルに対応して、

$$\mathbf{m}^{\kappa\rho}[\xi] := \mathbf{C}^{\kappa,\rho}[\xi] - \partial_\rho \left[\xi^\gamma \mathbf{W}^{\kappa\rho,\alpha}_\gamma \right] = \mathbf{m}^{[\kappa\rho]}[\xi] \quad (2.54)$$

を考察することができる。 $\mathbf{m}^{\kappa\rho}[\xi]$ は Komar のスーパー・ポテンシャルと呼ばれる [5]。

本記事で解説できなかった、重力場のエネルギーについての進んだ議論は、論文 [4] が詳しい。

2.3 内山のスーパーポテンシャル $U^{\lambda\mu}_\nu$ の表式

$U^{\lambda\mu}_\nu$ を求める。

まず、(1.91) は、

$$U^{\lambda\mu}_\nu := -\frac{1}{\kappa} \delta_\nu^{[\lambda} D^{\mu]} + \mathbf{C}^{[\lambda,\mu]}_\nu - \frac{1}{3} \partial_\rho (\mathbf{F}^{\lambda,\rho\mu}_\nu - \mathbf{F}^{\mu,\rho\lambda}_\nu) \quad (2.55)$$

であった。(2.40) より、

$$\mathbf{C}^{[\kappa,\alpha]}_\gamma = \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[\frac{1}{2} \delta_\gamma^\kappa g^{\mu\nu} \Gamma^\alpha_{\mu\nu} - \frac{1}{2} \delta_\gamma^\alpha g^{\mu\nu} \Gamma^\kappa_{\mu\nu} - g^{\rho\alpha} \Gamma^\kappa_{\gamma\rho} + g^{\rho\kappa} \Gamma^\alpha_{\gamma\rho} \right] \quad (2.56)$$

である。(2.24) より、

$$\mathbf{F}^{\kappa,\rho\alpha}_\gamma = \frac{\sqrt{-g}}{4\kappa} \left(-2\delta_\gamma^\kappa g^{\rho\alpha} + \delta_\gamma^\rho g^{\kappa\alpha} + \delta_\gamma^\alpha g^{\kappa\rho} \right) \quad (2.57)$$

なので、

$$\begin{aligned} \mathbf{F}^{\kappa,\rho\alpha}_\gamma - \mathbf{F}^{\alpha,\rho\kappa}_\gamma &= \frac{\sqrt{-g}}{4\kappa} \left(-2\delta_\gamma^\kappa g^{\rho\alpha} + 2\delta_\gamma^\alpha g^{\rho\kappa} + \delta_\gamma^\rho g^{\kappa\alpha} - \delta_\gamma^\rho g^{\alpha\kappa} \right) \\ &= \frac{3}{4\kappa} \sqrt{-g} \left(-\delta_\gamma^\kappa g^{\rho\alpha} + \delta_\gamma^\alpha g^{\rho\kappa} \right) \end{aligned} \quad (2.58)$$

であり、

$$-\frac{1}{3} \partial_\rho (\mathbf{F}^{\kappa,\rho\alpha}_\gamma - \mathbf{F}^{\alpha,\rho\kappa}_\gamma) = \frac{1}{4\kappa} [\delta_\gamma^\kappa \partial_\rho (\sqrt{-g} g^{\rho\alpha}) - \delta_\gamma^\alpha \partial_\rho (\sqrt{-g} g^{\rho\kappa})] \quad (2.59)$$

である。ここで、

$$\partial_\rho (\sqrt{-g} g^{\rho\alpha}) = \sqrt{-g} (\Gamma_\rho g^{\rho\alpha} + \partial_\rho g^{\rho\alpha}) \quad (2.60)$$

であり、

$$\begin{aligned} \partial_\rho g^{\beta\alpha} &= -g^{\beta\mu} g^{\alpha\nu} \partial_\rho g_{\mu\nu} \\ &= -g^{\beta\mu} g^{\alpha\nu} (g_{\mu\delta} \Gamma^\delta_{\nu\rho} + g_{\nu\delta} \Gamma^\delta_{\rho\mu}) \end{aligned} \quad (2.61)$$

なので、

$$\begin{aligned} \partial_\rho (\sqrt{-g} g^{\rho\alpha}) &= \sqrt{-g} (\Gamma_\rho g^{\rho\alpha} - g^{\rho\mu} g^{\alpha\nu} g_{\mu\delta} \Gamma^\delta_{\nu\rho} - g^{\rho\mu} g^{\alpha\nu} g_{\nu\delta} \Gamma^\delta_{\rho\mu}) \\ &= \sqrt{-g} (\Gamma_\rho g^{\rho\alpha} - g^{\alpha\nu} \Gamma^\rho_{\nu\rho} - g^{\rho\mu} \Gamma^\alpha_{\rho\mu}) \\ &= -\sqrt{-g} g^{\rho\mu} \Gamma^\alpha_{\rho\mu} \end{aligned} \quad (2.62)$$

である。よって、

$$-\frac{1}{3}\partial_\rho(\mathbf{F}^{\kappa,\rho\alpha}_\gamma - \mathbf{F}^{\alpha,\rho\kappa}_\gamma) = \frac{\sqrt{-g}}{4\kappa}[-\delta_\gamma^\kappa g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\alpha + \delta_\gamma^\alpha g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\kappa] \quad (2.63)$$

である。これより、

$$\begin{aligned} \mathbf{C}^{[\kappa,\alpha]}_\gamma - \frac{1}{3}\partial_\rho(\mathbf{F}^{\kappa,\rho\alpha}_\gamma - \mathbf{F}^{\alpha,\rho\kappa}_\gamma) &= \frac{\sqrt{-g}}{4\kappa} \left[\delta_\gamma^\kappa g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\alpha - \delta_\gamma^\alpha g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\kappa - 2g^{\rho\alpha}\Gamma_{\gamma\rho}^\kappa + 2g^{\rho\kappa}\Gamma_{\gamma\rho}^\alpha \right. \\ &\quad \left. - \delta_\gamma^\kappa g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\alpha + \delta_\gamma^\alpha g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\kappa \right] \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[-g^{\rho\alpha}\Gamma_{\gamma\rho}^\kappa + g^{\rho\kappa}\Gamma_{\gamma\rho}^\alpha \right] \end{aligned} \quad (2.64)$$

を得る。よって、

$$\mathbf{U}^{\kappa\alpha}_\gamma = \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[-g^{\rho\alpha}\Gamma_{\gamma\rho}^\kappa + g^{\rho\kappa}\Gamma_{\gamma\rho}^\alpha - \delta_\gamma^\kappa (g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\alpha - g^{\mu\alpha}\Gamma_\mu) + \delta_\gamma^\alpha (g^{\mu\nu}\Gamma_{\mu\nu}^\kappa - g^{\mu\kappa}\Gamma_\mu) \right] \quad (2.65)$$

である。これは Freud のスーパー・ポテンシャル $\mathbf{f}^{\kappa\alpha}_\gamma$ と一致している。

2.4 アインシュタインのエネルギー擬テンソル t^μ_ν の表式

最後に t^μ_ν を計算しよう。これは、

$$t^\mu_\nu = \frac{1}{2\kappa} \left(\frac{\partial \mathbf{G}}{\partial(\partial_\mu g_{\alpha\beta})} \partial_\nu g_{\alpha\beta} - \delta_\nu^\mu \mathbf{G} \right) \quad (2.66)$$

であった。いま、

$$t^\mu_\nu := \frac{t^\mu_\nu}{\sqrt{-g}} = \frac{1}{2\kappa} (s^\mu_\nu - \delta_\nu^\mu G) \quad (2.67)$$

とおくと、

$$\begin{aligned} s^\mu_\nu &= \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial(\partial_\mu g_{\alpha\beta})} \partial_\nu g_{\alpha\beta} \\ &= G^{\mu,\alpha\beta} \partial_\nu g_{\alpha\beta} \end{aligned} \quad (2.68)$$

である。(2.19), (2.35) より、

$$s^\sigma_\nu = \frac{1}{2} \left[\Gamma^\sigma_{\mu\rho} (2g^{\mu\tau} g^{\rho\delta} - g^{\mu\rho} g^{\delta\tau}) + (g^{\delta\tau} g^{\sigma\gamma} - g^{\sigma\tau} g^{\gamma\delta} - g^{\sigma\delta} g^{\gamma\tau}) \Gamma_\gamma \right] (g_{\delta\alpha} \Gamma_{\tau\nu}^\alpha + g_{\tau\alpha} \Gamma_{\nu\delta}^\alpha) \quad (2.69)$$

である。よって、

$$s^{\sigma\beta} := g^{\beta\nu} s^\sigma_\nu = {}^{(1)}s^{\sigma\beta} + {}^{(2)}s^{\sigma\beta}, \quad (2.70)$$

$${}^{(1)}s^{\sigma\beta} = \frac{1}{2} \Gamma^\sigma_{\mu\rho} (2g^{\mu\tau} g^{\rho\delta} - g^{\mu\rho} g^{\delta\tau}) g^{\beta\nu} (g_{\delta\alpha} \Gamma_{\tau\nu}^\alpha + g_{\tau\alpha} \Gamma_{\nu\delta}^\alpha), \quad (2.71)$$

$${}^{(2)}s^{\sigma\beta} = \frac{1}{2} (g^{\delta\tau} g^{\sigma\gamma} - g^{\sigma\tau} g^{\gamma\delta} - g^{\sigma\delta} g^{\gamma\tau}) \Gamma_\gamma g^{\beta\nu} (g_{\delta\alpha} \Gamma_{\tau\nu}^\alpha + g_{\tau\alpha} \Gamma_{\nu\delta}^\alpha) \quad (2.72)$$

となる。まず、

$$2^{(1)}s^{\sigma\beta} = 2\Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\tau\nu}^{\rho}g^{\mu\tau}g^{\beta\nu} + 2\Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\nu\delta}^{\mu}g^{\beta\nu}g^{\rho\delta} - \Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\nu}g^{\mu\rho}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\nu}g^{\mu\rho}g^{\beta\nu}, \quad (2.73)$$

$$^{(1)}s^{\sigma\beta} = 2\Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\tau\nu}^{\rho}g^{\mu\tau}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\nu}g^{\mu\rho}g^{\beta\nu} \quad (2.74)$$

である。また、

$$2^{(2)}s^{\sigma\beta} = \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu}g^{\sigma\gamma}g^{\beta\nu} + \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu}g^{\sigma\gamma}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\tau\nu}^{\gamma}g^{\sigma\tau}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu\delta}^{\sigma}g^{\beta\nu}g^{\gamma\delta} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\tau\nu}^{\sigma}g^{\gamma\tau}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu\delta}^{\gamma}g^{\sigma\delta}g^{\beta\nu} \quad (2.75)$$

なので、

$$^{(2)}s^{\sigma\beta} = \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu}g^{\sigma\gamma}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\tau\nu}^{\gamma}g^{\sigma\tau}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu\delta}^{\sigma}g^{\beta\nu}g^{\gamma\delta} \quad (2.76)$$

である。よって、

$$s^{\sigma\beta} = 2\Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\tau\nu}^{\rho}g^{\mu\tau}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\mu\rho}^{\sigma}\Gamma_{\nu}g^{\mu\rho}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu\delta}^{\sigma}g^{\beta\nu}g^{\gamma\delta} + \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\nu}g^{\sigma\gamma}g^{\beta\nu} - \Gamma_{\gamma}\Gamma_{\tau\nu}^{\gamma}g^{\sigma\tau}g^{\beta\nu} \quad (2.77)$$

を得る。最初の3項は σ, β について対称ではない。

A アインシュタイン・ヒルベルト作用の変形

この章では、一般のアフィン接続⁶⁾ についての $\sqrt{-g}R$ を変形する。
一般のアフィン接続は、

$$\Gamma^\sigma_{\mu\nu} = \tilde{\Gamma}^\sigma_{\mu\nu} + K^\sigma_{\mu\nu} \quad (\text{A.1})$$

で与えられる。ここで、

$$\tilde{\Gamma}^\sigma_{\mu\nu} := \frac{1}{2}g^{\sigma\lambda}(\partial_\mu g_{\lambda\nu} + \partial_\nu g_{\lambda\mu} - \partial_\lambda g_{\mu\nu}) \quad (\text{A.2})$$

はクリストッフエルの3指記号で、§1の $\Gamma^\sigma_{\mu\nu}$ である。また、

$$K^\sigma_{\mu\nu} := \frac{1}{2}(C^\sigma_{\mu\nu} + C_{\nu\mu}^\sigma + C_{\mu\nu}^\sigma) \quad (\text{A.3})$$

は contortion と呼ばれ、最初の2つの添え字について反対称

$$K_{\sigma\mu\nu} = -K_{\mu\sigma\nu} \quad (\text{A.4})$$

である。なお、

$$C^\sigma_{\mu\nu} := \Gamma^\sigma_{\mu\nu} - \Gamma^\sigma_{\nu\mu} \quad (\text{A.5})$$

は捩率テンソルである。

さて、 $\sqrt{-g}R$ は次のように書き換えられる：

$$\begin{aligned} \sqrt{-g}R &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu} \left[\partial_\rho \Gamma^\rho_{\mu\nu} - \partial_\nu \Gamma^\rho_{\mu\rho} + \Gamma^\rho_{\gamma\rho} \Gamma^\gamma_{\mu\nu} - \Gamma^\rho_{\gamma\nu} \Gamma^\gamma_{\mu\rho} \right] \\ &= \partial_\rho \left[\sqrt{-g}g^{\mu\nu} \Gamma^\rho_{\mu\nu} - \sqrt{-g}g^{\mu\rho} \Gamma^\nu_{\mu\nu} \right] \\ &\quad - \partial_\rho (\sqrt{-g}g^{\mu\nu}) \Gamma^\rho_{\mu\nu} + \partial_\rho (\sqrt{-g}g^{\mu\rho}) \Gamma^\nu_{\mu\nu} \\ &\quad - \sqrt{-g}g^{\mu\nu} \left[\Gamma^\rho_{\gamma\nu} \Gamma^\gamma_{\mu\rho} - \Gamma^\rho_{\gamma\rho} \Gamma^\gamma_{\mu\nu} \right] \\ &= \partial_\rho \mathcal{D}^\rho - \partial_\rho (\sqrt{-g}g^{\mu\nu}) \Gamma^\rho_{\mu\nu} + \partial_\rho (\sqrt{-g}g^{\mu\rho}) \Gamma^\nu_{\mu\nu} - \sqrt{-g} \mathcal{G}, \end{aligned} \quad (\text{A.6})$$

$$\mathcal{G} := g^{\mu\nu} \left[\Gamma^\rho_{\gamma\nu} \Gamma^\gamma_{\mu\rho} - \Gamma^\rho_{\gamma\rho} \Gamma^\gamma_{\mu\nu} \right], \quad (\text{A.7})$$

$$\mathcal{D}^\rho := \sqrt{-g}g^{\mu\nu} \Gamma^\rho_{\mu\nu} - \sqrt{-g}g^{\mu\rho} \Gamma^\nu_{\mu\nu}. \quad (\text{A.8})$$

まず、(A.6)の右辺第2項を計算する。その計算に、

$$\partial_\lambda \sqrt{-g} = \sqrt{-g} \tilde{\Gamma}^\mu_{\lambda\mu} \quad (\text{A.9})$$

を用いると、

$$-\partial_\rho (\sqrt{-g}g^{\mu\nu}) \Gamma^\rho_{\mu\nu} = -\sqrt{-g} \left(g^{\mu\nu} \tilde{\Gamma}^\alpha_{\rho\alpha} + \partial_\rho g^{\mu\nu} \right) \Gamma^\rho_{\mu\nu} \quad (\text{A.10})$$

⁶⁾ただし、 $\nabla_\lambda g_{\mu\nu} = 0$ を仮定している。

となる。ここで、

$$0 = \nabla_\rho g^{\mu\nu} = \partial_\rho g^{\mu\nu} + \Gamma^\mu_{\alpha\rho} g^{\alpha\nu} + \Gamma^\nu_{\alpha\rho} g^{\mu\alpha} \quad (\text{A.11})$$

を用いると、

$$\begin{aligned} & -\partial_\rho(\sqrt{-g}g^{\mu\nu})\Gamma^\rho_{\mu\nu} \\ &= \sqrt{-g}\left(-g^{\mu\nu}\tilde{\Gamma}^\alpha_{\rho\alpha} + \Gamma^\mu_{\alpha\rho}g^{\alpha\nu} + \Gamma^\nu_{\alpha\rho}g^{\mu\alpha}\right)\Gamma^\rho_{\mu\nu} \\ &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left[-\tilde{\Gamma}^\alpha_{\rho\alpha}\Gamma^\rho_{\mu\nu} + \Gamma^\alpha_{\mu\rho}\Gamma^\rho_{\alpha\nu} + \Gamma^\alpha_{\nu\rho}\Gamma^\rho_{\mu\alpha}\right] \\ &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left[-\tilde{\Gamma}^\alpha_{\rho\alpha}\Gamma^\rho_{\mu\nu} + 2\Gamma^\alpha_{\mu\rho}\Gamma^\rho_{(\alpha\nu)}\right] \\ &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left[-\tilde{\Gamma}^\alpha_{\rho\alpha}\Gamma^\rho_{\mu\nu} + \Gamma^\alpha_{\mu\rho}(2\Gamma^\rho_{\alpha\nu} - C^\rho_{\alpha\nu})\right] \end{aligned} \quad (\text{A.12})$$

を得る。ここで、 $2\Gamma^\rho_{[\alpha\nu]} = C^\rho_{\alpha\nu}$ を用いた。また、(A.6)の右辺第3項は、

$$\begin{aligned} & \partial_\rho(\sqrt{-g}g^{\mu\rho})\Gamma^\nu_{\mu\nu} \\ &= \sqrt{-g}\left(g^{\mu\rho}\tilde{\Gamma}^\alpha_{\rho\alpha} - \Gamma^\mu_{\alpha\rho}g^{\alpha\rho} - \Gamma^\rho_{\alpha\rho}g^{\mu\alpha}\right)\Gamma^\gamma_{\mu\nu} \\ &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left[\tilde{\Gamma}^\alpha_{\nu\alpha}\Gamma^\gamma_{\mu\gamma} - \Gamma^\rho_{\mu\nu}\Gamma^\gamma_{\rho\gamma} - \Gamma^\rho_{\nu\rho}\Gamma^\gamma_{\mu\gamma}\right] \\ &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left[-\Gamma^\rho_{\mu\nu}\Gamma^\gamma_{\rho\gamma} - K^\rho_{\nu\rho}\Gamma^\gamma_{\mu\gamma}\right] \end{aligned} \quad (\text{A.13})$$

となる。ここで(A.1)を用いた。よって、(A.6)の右辺第2,3項の和は、

$$\begin{aligned} & -\partial_\rho(\sqrt{-g}g^{\mu\nu})\Gamma^\rho_{\mu\nu} + \partial_\rho(\sqrt{-g}g^{\mu\rho})\Gamma^\nu_{\mu\nu} \\ &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left\{-\Gamma^\rho_{\mu\nu}\left[\tilde{\Gamma}^\gamma_{\rho\gamma} + \Gamma^\gamma_{\rho\gamma}\right] + 2\Gamma^\alpha_{\mu\rho}\Gamma^\rho_{\alpha\nu}\right. \\ &\quad \left.-\Gamma^\alpha_{\mu\rho}C^\rho_{\alpha\nu} - K^\rho_{\nu\rho}\Gamma^\gamma_{\mu\gamma}\right\} \\ &= \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left\{-2\Gamma^\rho_{\mu\nu}\Gamma^\gamma_{\rho\gamma} + \Gamma^\rho_{\mu\nu}K^\gamma_{\rho\gamma} + 2\Gamma^\alpha_{\mu\rho}\Gamma^\rho_{\alpha\nu}\right. \\ &\quad \left.-\Gamma^\alpha_{\mu\rho}C^\rho_{\alpha\nu} - K^\rho_{\nu\rho}\Gamma^\gamma_{\mu\gamma}\right\} \\ &= 2\sqrt{-g}\mathcal{G} + \sqrt{-g}g^{\mu\nu}\left\{\Gamma^\rho_{\mu\nu}K^\gamma_{\rho\gamma} - \Gamma^\alpha_{\mu\rho}C^\rho_{\alpha\nu} - K^\rho_{\nu\rho}\Gamma^\gamma_{\mu\gamma}\right\} \\ &= 2\sqrt{-g}\mathcal{G} + \sqrt{-g}g^{\mu\nu}L_{(\mu\nu)} \end{aligned} \quad (\text{A.14})$$

である。ここで、

$$\begin{aligned} L_{\mu\nu} &:= \Gamma^\rho_{\mu\nu}K^\gamma_{\rho\gamma} - \Gamma^\alpha_{\mu\rho}C^\rho_{\alpha\nu} - K^\rho_{\nu\rho}\Gamma^\gamma_{\mu\gamma} \\ &= \Gamma^\rho_{\mu\nu}C_\rho - \Gamma^\alpha_{\mu\rho}C^\rho_{\alpha\nu} - C_\nu\Gamma^\gamma_{\mu\gamma} \quad (C_\mu := C^\sigma_{\mu\sigma}) \end{aligned} \quad (\text{A.15})$$

である。第2等号で、 $K^\sigma_{\mu\sigma} = C_\mu$ を用いた。よって、

$$\sqrt{-g}R = \sqrt{-g}\mathcal{G} + \partial_\mu\mathbf{D}^\mu + \sqrt{-g}g^{\mu\nu}L_{(\mu\nu)} \quad (\text{A.16})$$

となる。特に、リーマン接続の場合(振率がない場合)、上式は(1.5)となる。

B G から得られる量

B.1 G の微分

(2.12) より、

$$\begin{aligned}
\frac{\partial G}{\partial(\partial_\sigma g_{\delta\tau})} &= \frac{1}{2} [(g^{\mu\tau} g^{\rho\delta} g^{\sigma\beta} + g^{\mu\sigma} g^{\rho\delta} g^{\tau\beta} - g^{\mu\tau} g^{\rho\sigma} g^{\delta\beta}) \Gamma_{\beta\mu\rho} \\
&\quad + (g^{\sigma\nu} g^{\tau\alpha} g^{\gamma\delta} + g^{\tau\nu} g^{\sigma\alpha} g^{\gamma\delta} - g^{\delta\nu} g^{\tau\alpha} g^{\gamma\sigma}) \Gamma_{\alpha\gamma\nu} \\
&\quad - g^{\mu\nu} g^{\tau\delta} g^{\sigma\beta} \Gamma_{\beta\mu\nu} - \frac{1}{2} (g^{\sigma\tau} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\delta} + g^{\tau\sigma} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\delta} - g^{\delta\tau} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\sigma}) \partial_\gamma g_{\alpha\rho}] \\
&= \frac{1}{4} [(g^{\mu\tau} g^{\rho\delta} g^{\sigma\beta} + g^{\mu\sigma} g^{\rho\delta} g^{\tau\beta} - g^{\mu\tau} g^{\rho\sigma} g^{\delta\beta}) (\partial_\mu g_{\beta\rho} + \partial_\rho g_{\beta\mu} - \partial_\beta g_{\mu\rho}) \\
&\quad + (g^{\sigma\nu} g^{\tau\alpha} g^{\gamma\delta} + g^{\tau\nu} g^{\sigma\alpha} g^{\gamma\delta} - g^{\delta\nu} g^{\tau\alpha} g^{\gamma\sigma}) (\partial_\gamma g_{\alpha\nu} + \partial_\nu g_{\alpha\gamma} - \partial_\alpha g_{\gamma\nu}) \\
&\quad - g^{\mu\nu} g^{\tau\delta} g^{\sigma\beta} (\partial_\mu g_{\beta\nu} + \partial_\nu g_{\beta\mu} - \partial_\beta g_{\mu\nu}) \\
&\quad - (g^{\sigma\tau} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\delta} + g^{\tau\sigma} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\delta} - g^{\delta\tau} g^{\rho\alpha} g^{\gamma\sigma}) \partial_\gamma g_{\alpha\rho}] \tag{B.1}
\end{aligned}$$

となる。第 n 項 ($n = 1, 2, 3, 4$) からの寄与を $(n)/4$ と書くと、

$$\begin{aligned}
(1) &= P^{\tau,\delta\sigma} + P^{\sigma,\delta\tau} - P^{\tau,\delta\sigma} + P^{\delta,\tau\sigma} + P^{\delta,\tau\sigma} - P^{\sigma,\delta\tau} - P^{\sigma,\delta\tau} - P^{\tau,\delta\sigma} + P^{\delta,\tau\sigma} \\
&= -P^{\tau,\delta\sigma} - P^{\sigma,\delta\tau} + 3P^{\delta,\tau\sigma}. \tag{B.2}
\end{aligned}$$

ここで、

$$P^{\alpha,\beta\gamma} := g^{\alpha\lambda} g^{\beta\mu} g^{\gamma\nu} \partial_\lambda g_{\mu\nu} \tag{B.3}$$

である。

$$\begin{aligned}
(2) &= P^{\delta,\tau\sigma} + P^{\delta,\tau\sigma} - P^{\sigma,\delta\tau} + P^{\sigma,\delta\tau} + P^{\tau,\delta\sigma} - P^{\delta,\tau\sigma} - P^{\tau,\delta\sigma} - P^{\sigma,\delta\tau} + P^{\tau,\delta\sigma} \\
&= P^{\tau,\delta\sigma} - P^{\sigma,\delta\tau} + P^{\delta,\tau\sigma}. \tag{B.4}
\end{aligned}$$

$$(3) = g^{\delta\tau} (-2P^{\bullet,\bullet\sigma} + P^{\sigma,\bullet\bullet}). \tag{B.5}$$

ここで、

$$P^{\alpha,\bullet\bullet} := g^{\alpha\lambda} g^{\mu\nu} \partial_\lambda g_{\mu\nu}, \tag{B.6}$$

$$P^{\bullet,\bullet\beta} := g^{\lambda\mu} g^{\beta\nu} \partial_\lambda g_{\mu\nu}. \tag{B.7}$$

$$(4) = -2g^{\sigma\tau} P^{\delta,\bullet\bullet} + g^{\delta\tau} P^{\sigma,\bullet\bullet} \tag{B.8}$$

よって、

$$\frac{\partial G}{\partial \partial_\sigma g_{\delta\tau}} = \frac{1}{2} \left[-P^{\sigma,\delta\tau} + 2P^{(\delta,\tau)\sigma} + g^{\delta\tau} (-P^{\bullet,\bullet\sigma} + P^{\sigma,\bullet\bullet}) - g^{\sigma(\delta} P^{\tau),\bullet\bullet} \right]. \tag{B.9}$$

B.2 アインシュタイン・テンソル

局所ローレンツ系⁷⁾で考える。この時、

$$\begin{aligned} \mathbf{G}^{\delta\tau} &= \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial g_{\delta\tau}} - \partial_\sigma \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial \partial_\sigma g_{\delta\tau}} \\ &= -\partial_\sigma \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial \partial_\sigma g_{\delta\tau}} \end{aligned} \quad (\text{B.10})$$

である。また、

$$\partial_\sigma \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial \partial_\sigma g_{\delta\tau}} = \frac{1}{2} \left[-P_\sigma^{\sigma,\delta\tau} + P_\sigma^{\delta,\tau\sigma} + P_\sigma^{\tau,\delta\sigma} - P^{\delta\tau,\bullet\bullet} + g^{\delta\tau} (-P_\sigma^{\bullet,\bullet\sigma} + P_\sigma^{\sigma,\bullet\bullet}) \right] \quad (\text{B.11})$$

である。ここで、

$$P_\sigma^{\sigma,\delta\tau} = \eta^{\sigma\alpha} \eta^{\delta\beta} \eta^{\tau\gamma} \partial_\sigma \partial_\alpha g_{\beta\gamma} \quad (\text{B.12})$$

などである。一方、

$$\begin{aligned} R^{\mu\nu} &= \frac{1}{2} (P_\alpha^{\mu,\alpha\nu} - P_\alpha^{\alpha,\mu\nu} - P^{\mu\nu,\bullet\bullet} + P^{\nu\bullet,\bullet\mu}) \\ &= \frac{1}{2} (P_\alpha^{\mu,\nu\alpha} - P_\alpha^{\alpha,\mu\nu} - P^{\mu\nu,\bullet\bullet} + P_\alpha^{\nu,\mu\alpha}) \end{aligned} \quad (\text{B.13})$$

および、

$$R = -P_\alpha^{\alpha,\bullet\bullet} + P_\alpha^{\bullet,\bullet\alpha} \quad (\text{B.14})$$

である。よって、

$$\begin{aligned} \partial_\sigma \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial \partial_\sigma g_{\delta\tau}} &= R^{\delta\tau} - \frac{1}{2} g^{\delta\tau} R \\ &= \mathbf{G}^{\delta\tau} \end{aligned} \quad (\text{B.15})$$

となる。これより、

$$\mathbf{G}^{\delta\tau} = -\sqrt{-g} G^{\delta\tau} \quad (\text{B.16})$$

が示された。

B.3 擬スーパー・ポテンシャル ${}^{(0)}\mathbf{C}^{\sigma\delta}_\rho$

擬スーパー・ポテンシャル ${}^{(0)}\mathbf{C}^{\sigma\delta}_\rho$ は、

$$\begin{aligned} {}^{(0)}\mathbf{C}^{\sigma\delta}_\rho &= -\frac{1}{\kappa} \frac{\partial \mathbf{G}}{\partial (\partial_\sigma g_{\delta\tau})} g_{\tau\rho} \\ &= \frac{\sqrt{-g}}{2\kappa} \left[P^{\sigma,\delta}_\rho - P^{\delta,\sigma}_\rho - P_\rho^{\delta\sigma} + \delta_\rho^\delta (P^{\bullet,\bullet\sigma} - P^{\sigma,\bullet\bullet}) + \frac{1}{2} g^{\sigma\delta} P_\rho^{\bullet\bullet} + \frac{1}{2} \delta_\rho^\sigma P^{\delta,\bullet\bullet} \right] \\ &\neq -{}^{(0)}\mathbf{C}^{\delta\sigma}_\rho \end{aligned} \quad (\text{B.17})$$

となる。[3] には ${}^{(0)}\mathbf{C}^{\sigma\delta}_\rho = -{}^{(0)}\mathbf{C}^{\delta\sigma}_\rho$ という記述があるが、間違いである。

⁷⁾ その座標系の原点では、

$$g_{\mu\nu} = \eta_{\mu\nu} := \text{diag}(-1, 1, 1, \dots, 1), \quad \partial_\lambda g_{\mu\nu} = 0$$

となる。

References

- [1] 内山龍雄 『一般ゲージ場論序説』 (岩波書店, 1987年).
- [2] 内山龍雄 『一般相対性理論』 (裳華房, 1978年).
- [3] 内山龍雄 『相対性理論』 (岩波書店, 1977年).
- [4] Chiang-Mei Chen, J. M. Nester and Roh-Suan Tung, “Gravitational energy for GR and Poincaré gauge theories: a covariant Hamiltonian approach”, *Int. J. Mod. Phys. D* **24**, 1530026 (2015). [arXiv:1507.07300]
- [5] B. Julia, S. Silva, “Currents and Superpotentials in classical gauge invariant theories I. Local results with applications to Perfect Fluids and General Relativity”, *Class. Quant. Grav.* **15**, 2173 (1998).[arXiv:gr-qc/9804029v2]